

農作物残さを活用したペレット燃料



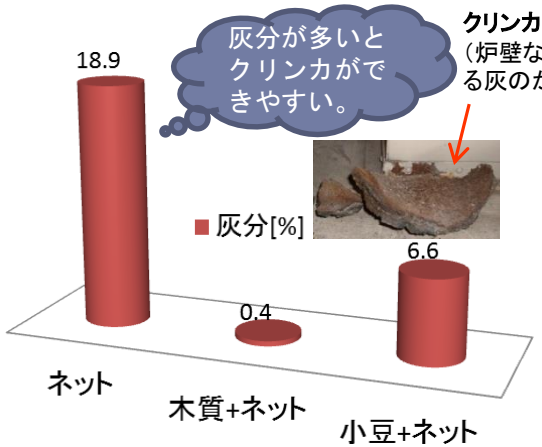
道総研 廃長いも育成ネットや小豆殻を原料とするペレット燃料の製造技術

背景

- 原油価格の高騰や地球温暖化抑制の観点からバイオマス燃料が注目されている。
- 農業用廃プラスチックの中でも特に処分が困難な廃長いも育成ネット（以下、ネット。右図）や小豆殻の有効利用が求められている。

成果

①開発ペレットの燃料品質の把握



○ネットは灰分が多いことから、クリンカができて炉を傷めやすい→木質、小豆殻と混合して灰分を低減した燃料を開発。

②既存ペレット工場での製造試験

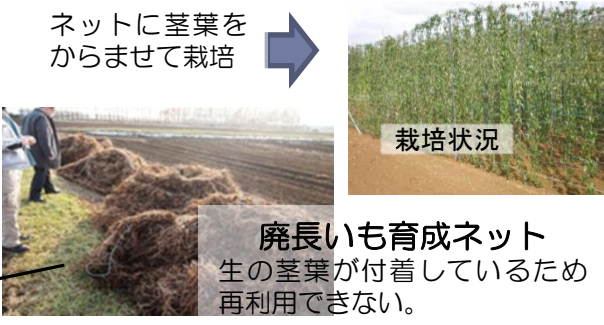


○既存ペレット工場でも従来ペレットと同様に製造可能であることを確認。
○ネットの混合により、発熱量が向上。

③開発したボイラを用いた燃焼試験



○開発したボイラで燃焼することにより、高灰分の燃料でもクリンカの発生を抑制。
○有害物質（ダイオキシン等）の発生は規制値以下。



期待される効果

- 芽室町の宿泊施設において使用されるなど、廃長いも育成ネットのサーマルリサイクル（熱利用）に貢献。
- 廃長いも育成ネット以外の農作物残さも、燃料化が可能に！